

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 年 月 日

事業所名 こどもプラス三日月教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2		運動や学習の時間を分ける	運動や学習の空間を上手く配慮しながら使用している
	2	職員の配置数は適切である	8				適切である
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1		マットを活用しラットになりようにしている	多少の段差はあるが段差の前で立ち止まり転ばないように支援している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	4		目標設定は個別で話をしたりしている	月の初めに職員が集まり話し合いをする様にしています
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		年に一度保護者向けの評価表の提出をお願いしています	提出してもらった意向を内容に寄っては話し合い家族に回答しています。また、意見が少ない家族には「このうのはどうですか?」と提案をしています
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		1	会報は写真を多く使用しています	公開し家族にも公開している事を伝えていきます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4	3	外部評価は受けていない	一部フランチャイズの部分で本部より意見を頂き業務改善を行っている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	1	研修費用を会社が負担し参加できる	職員の参加したい研修等募り積極的に参加している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	1	計画作成のできる職員を二人配置している	児童発達支援管理者が計画を作成し課題などは職員全体で話し愛を行っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2	1	標準化された様式を使用している	アセスメントは、職員全体で共有できるように取り組んでいます
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		1	チームで話し合う機会をもっている	職員間で話し合っているがパートさんが立案に入っていない時もある
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1		高学年と低学年が混在しており立案が難しいが工夫している	季節に応じた活動もたくさん取り入れ日によって内容を変え固定化しないように取り組んでいる
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2	1	平日や長期休暇で出来る課題を設定して支援している	細やかな課題に設定出来ている部分と出来ていない部分を精査して改善を行いたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	1	支援者や家族と共に話し合い計画を立てている	課題は、計画に沿って支援出来ているか日々の活動の中で振り返りを行い改善をしていきたい
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	3	1	全体で支援の内容など話しを行っている	役割分担をもっと明確にして支援につなげていきたい

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	1	送迎後は、職員間で話を必ずしている	支援終了後は、当日出勤者以外にも伝えられるような工夫をしています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	1	日々の記録は漏れなくしている	記録の内容をフィードバック出来るような体制にして支援の組み立てに活かしたい
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		1	随時、モニタリングを行い変更も積極的に取り組んでいる	日々の様子など細かな所まで目を配り計画の相互性を図りながら適時取り組んでいきます
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5		1	1日に2～3個程度組み合わせ飽きないような工夫をしている	利用者様個人の学習、感覚統合や運動等日常生活面でも支援の細かな部分を今後どうして行くのか課題も明確にしていながら取り組んでいきます
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			児発管、管理者が会議に参加している。	会議に参加した内容も職員間で共有している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7			家族から情報提供してもらっている。時間割など確認している	一部の保護者から時間割等、提供してもらえていない部分も今後情報提供して頂けるように工夫していきたい
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	1	4		現在、医療的ケアが必要な児童は利用されていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		児発管が中心となり取り組んでいる	持ち帰った情報は、職員間で共有できるようにし支援等実際取り組んでいる
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	2	該当者がいない	就職や就労がスムーズに行くような取り組みをしていく事が今後の課題です
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	1	専門機関との連携が取れるように密に連絡を取り合っている	研修に参加出来るときは積極的に参加している。専門機関とも連携が取れるように取り組んでいる
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	1	公園や外出先で交流している	一緒にサッカーをしたり鬼ごっこをしたり交流が持てるように心がけている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1		積極的に参加している	参加時間が短い場合もあるが出来るだけ参加するようにしている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1		送迎時など家族と話しするようにしている	利用時の様子を写真を活用し児童の様子や状況発達の課題など話しをしている
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	1	自宅に訪問し家庭での様子など細かに情報を提供して頂けるように取り組んでいる	保護者と連絡が上手く取れない家庭もあるのでそういった所を少しでも減らせるようにしたいと共に対応する場面での関わり合いを事業所ではこの様にしていますなどアドバイスや支援も行っている	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		1	変更があれば直ぐに連絡ノートの書き込んでいます	内容など細かな変更や支援、利用者負担など書面を回し家族が自分の時間に見る事が出来るようにしている。しかし、書面を見ていない保護者もあるので見て貰えるようにするのが課題です	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	1	相談に適切に応じられるようにしている	相談等、事業所の一旦持ち帰り職員間で話し合い保護者さんへの助言し支援を行っている。結果まで結びつけているかが今後の課題です	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6			1	父母会を年2回行っている	親子ふれあいポーリング大会や運動会など開催し保護者さん同士の関わり合いが持てる機会を企画し保護者同士の連携は以前より向上している
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	1	1	適切に対応できる様な体制を整えている	苦情等あれば、直ぐに対応し職員間で話し合い適切に対応できるようにしている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			1	三日月便りを毎月発行している	書面やブログ等使い活動予定を発信している
	35	個人情報に十分注意している	8				施錠付きキャビネットに保管している	個人情報はずべてキャビネットの中に保管しており取り扱いには注意している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2			緊急時等ある為、連絡が取れる様に取り組んでいる	仕事中等、連絡が付きにくい場合もあるのでメールや電話で連絡が頂けるように取り組んでいる。緊急時等、連絡が付かない場合があった時にどうするのが今後の課題です
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	4		地域の公共機関を利用して事業の事を知って貰える様な活動を行っている	地域住民との関わりをどうやって増やしていくのが今後の課題です	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1			契約時に話をしたり行事として保護者さんに説明、報告をしている	利用時に児童さんが実際に体験したり話を聞いたりしご家族に送迎時に話をし伝える様にしている。どれくらいの家族に周知できているかが課題です
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7				定期的に訓練を行っている	各災害に応じた訓令を定期的に行っているし非常食、防災グッズ等準備している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				適切な対応が出来る様にしている	入社後、6ヶ月以内に新人研修を行い定期的に虐待防止の研修に参加したり職場内研修を行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			1	現在、身体拘束を行う対象者がいない	身体拘束がやもなく行わなければならない場合に備え保護者に説明を行い同意書も貰っている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2			保護者さんから情報提供受けている	保護者さんから医師の指示に基づく対応等を情報提供受けている
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				ヒヤリハットを作成し共有している	職員間や家族にヒヤリハットを作成し報告し再発防止に取り組んでいる	